

一般社団法人 人文知応援フォーラム

令和3年度事業報告書

1. 概況

令和3年度は、4月1日に一般社団法人を設立登記し、社会的使命は一層増して義務と責任を負ってのスタートとなりました。しかしながら、新型コロナウイルスとの闘いは2ヶ年を経ても収まらず、当フォーラムにも影を落とし、会議の開催や事業の展開に少なからぬ影響をもたらしました。

そうした中ではありますが、「人文知」が生きて働く社会を求める会員の支持を得て、質の高い充実した活動を展開することができました。同時に「人文知」の社会への浸透も一段と進み、各事業への参加者の声からも「人文知」が果たす役割に期待寄せていることが実感できた法人化初年度でもありました。

フォーラムの運営に関しましては、社員総会において賛助会員の入会手続きを効率化するため会員入退会規程を改正し、令和4年度から理事1名を迎える体制整備を図りました。

人間文化研究機構と共同開催している人文知応援大会は、第2回大会のテーマを“「人類の未来を考える」～人文知に於ける先端と古典の融合～”と設定し、基調講演講師に東京工業大学榮譽教授大隅良典氏を迎え、WEB参加を含め188名の参加者を集め、最後に大会宣言を採択しました。さらに、人文知応援大会の課題を掘り下げするための分科会や会員例会では、「人文知」が社会の中で働いている現場からの報告や、あるべき姿など白熱した議論が繰り広げられ、多彩な意見が開陳されました。そして、これらの活動は、ニュースレターにまとめられ、年度末には創刊号を発行することができました。

2. 会議開催状況

(1) 社員総会

1) 第1回定時社員総会

日時：令和3年6月30日(水) 13:00～13:10

場所：(一社)人文知応援フォーラム会議室

出席者：理事 2名(内1名はWEB会議システムによる出席)

決議数：総議決数 2個

出席決議数 2個

議案：第1号議案 一般社団法人人文知応援フォーラム定款の変更について
(原案通り承認決定)

第2号議案 一般社団法人人文知応援フォーラム入退会規程の変更に

ついて

(原案通り承認決定)

2) 第2回社員総会(書面審議)

日 程: 令和3年10月21日(木)

決議数: 総議決数 11個

議 案: 第1号議案 入退会規程の一部改正(案)について
(原案通り承認決定)

3) 第3回臨時社員総会

日 時: 令和4年3月17日(木) 13:00~14:20

場 所: 学士会館会議室(東京都千代田区)

出席者: 理 事 9名(内6名はWEB会議システムによる出席)

監 事 2名

オブザーバー 1名

決議数: 総議決数 12個

出席決議数 9個

議 案: 第1号議案 理事1名の選任について
(4月1日付けで木部暢子氏の理事就任を承認決定)

(2) 理事会

1) 第1回理事会

日 時: 令和3年4月20日(火) 15:00~15:40

場 所: 人間文化研究機構会議室

出席者: 理 事 7名(内4名はWEB会議システムによる出席)

監 事 2名

議 案: 第1号議案 顧問選任について

(原案通り加藤丈夫氏、高梨誠三郎氏を選任)

第2号議案 第2回人文知応援大会の開催のアウトラインおよび実行
体制について

(令和4年3月12日、一橋講堂において開催することを決定)

2) 第2回理事会

日 時: 令和3年6月11日(金) 14:00~14:30

場 所：人間文化研究機構 会議室

出席者：理 事 10名（内6名はWEB会議システムによる出席）

監 事 2名

議 案：第1号議案 一般社団法人人文知応援フォーラム定款変更について
（原案通り承認決定）

第2号議案 一般社団法人人文知応援フォーラム入退会規程の変更について
（原案通り承認決定）

第3号議案 正会員及び賛助会員の入会について
（全員の入会を承認）

第4号議案 特別会員候補者について
（特別会員として佐々木毅氏、五百簞頭眞氏、猪木武徳氏に依頼することを決定）

第5号議案 定時社員総会の開催について
（6月30日に開催することを決定）

3) 第3回理事会

日 時：令和3年9月30日（木）10：30～12：00

場 所：人間文化研究機構会議室

出席者：理 事 9名（内5名はWEB会議システムによる出席）

監 事 2名

議 案：第1号議案 入退会規程の変更について
（原案通り承認、社員総会への上程を決定）

第2号議案 臨時社員総会開催（書面審議）について
（原案通り書面による社員総会開催を承認決定）

第3号議案 第2回「応援大会」の開催概要について
（原案通り開催概要を承認決定）

第4号議案 第1回「例会」（仮称）開催および開催概要について
（原案通り開催概要を承認決定）

第5号議案 ニュースレター発刊について
（原案通り発刊概要を承認決定）

4) 第4回理事会

日 時：令和4年3月17日（木）13：00～14：55

場 所：学士会館会議室（東京都千代田区）

出席者：理事 11名（内6名はWEB会議システムによる出席）
監事 2名
オブザーバー 1名

議案：第1号議案 令和4年度事業計画書（案）並びに同収支予算書（案）について

（原案通り承認、社員総会への上程を決定）

第2号議案 理事1名の選任について

（木部暢子氏の理事就任を承認、社員総会への上程を決定）

第3号議案 第3回臨時社員総会の開催について

（本理事会の開催に合わせ臨時社員総会の開催を決定）

第4号議案 その他

（原案通り事務局体制の変更を承認決定）

（3）企画会議、応援大会実行委員会

1）5月度企画会議

日時：令和3年5月20日（木）10：00～11：30

場所：（一社）人文知応援フォーラム会議室（WEB会議併用）

出席者数：6名

協議事項：1．第2回人文知応援大会について

（応援大会の在り方、テーマ、大会コンテンツの構成について協議）

2．第1回大会のフォローアップについて

（分科会の開催について協議）

3．第2回理事会に上程する決議案について

（入退会規程の変更に伴う定款の改正他について協議）

2）9月度企画会議

日時：令和3年9月14日（木）14：00～16：00

場所：（一社）人文知応援フォーラム会議室（WEB会議併用）

出席者数：5名

協議事項：1．入退会規程の一部改正案について

（入退会規程の一部を変更し、オンライン申込みが出来る改正案を提案）

2．臨時社員総会の開催について

（入退会規程の一部変更を行うため、臨時社員総会を書面審議に

より開催することを提案)

3. 第2回「応援大会概要(案)」について
(第2回応援大会の日程、会場、開催形態、テーマ、基調講演講師などについて協議)
4. 第1回「会員例会」の開催について
(令和3年10月21日(木)17:00から開催決定)
5. ニュースレターの発刊について
(編集人を大原謙一郎代表理事、編集顧問を林真理子理事とし、A4版4ページで、年3回(4月、8月、12月)発刊を決定)

3) 10月度企画会議

日時: 令和3年10月20日(水)13:00~14:00
場所: (一社)人文知応援フォーラム会議室(WEB会議併用)
出席者数: 6名
協議事項: 1. 第1回会員例会について
(第1回会員例会のプログラムについて協議)

4) 12月度企画会議・実行委員会合同会議

日時: 令和3年12月10日(金)10:00~12:00
場所: (一社)人文知応援フォーラム会議室(WEB会議併用)
出席者数: 8名
協議事項: 1. 人文知探訪プログラムの企画(案)について
(人文知探訪プログラム実施の主旨、目的、推進体制、タイムスケジュール、実施体制などについて協議)
2. 第2回人文知応援大会に向けての準備について
(第2回応援大会のタイトルを「人類の未来を考える~人文知における先端と古典の融合」とし、諸準備状況を確認)

5) 2月度企画会議・実行委員会合同会議

日時: 令和4年2月2日(水)14:00~16:00
場所: (一社)人文知応援フォーラム会議室(WEB会議併用)
出席者数: 8名
協議事項: 1. 第2回人文知応援大会に向けての準備について
(大会宣言の作成、基調講演の骨子、登壇者の事前打ち合わせ会などについて協議するとともに、メディア懇談会について報告)

2. 令和4年度事業方針について
(令和4年度の事業方針について協議)

6) 3月度企画会議

日 時：令和4年3月2日(水) 14:00～16:00

場 所：(一社)人文知応援フォーラム会議室(WE B会議併用)

出席者数：9名

- 協議事項：1. 令和4年度事業計画書(案)、同予算書(案)について
(令和4年度事業計画案並びに収支予算案について協議、理事会への提出案を取りまとめる)
2. 理事1名の選任について
(令和4年4月1日付けで人間文化研究機構の機構長就任予定の木部暢子氏を当フォーラムの理事に迎えることを提案)
3. 令和3年度第4回理事会及び第3回臨時社員総会の開催について
(令和4年3月17日(木)開催の第4回理事会に併せ、臨時社員総会開催を理事会に諮る)
4. その他
(令和4年3月からの事務局体制について報告)

(5) その他会議等

1) 理事懇談会

日 時：令和4年1月20日(木) 16:00～17:30

場 所：志高荘(東京都品川区)

出席者数：8名

懇談内容：人文知応援大会、人文知探訪プログラム、人文知応援フォーラムの社会へのアピールの在り方、財政の現状などについて意見交換した。

2) その他

代表理事2名の打合せ会など、機会を捉え随時開催し、意見交換、情報の共有に努めた。

3. 事業活動

(1) 第2回人文知応援大会

1) 概要

日 時 令和4年3月12日(土) 13:30～17:00

会 場 一橋講堂（東京都千代田区）
主 催 一般社団法人人文知応援フォーラム
大学共同利用機関法人人間文化研究機構
参加者数 188名（内 会場52名、WEB136名）
テ ー マ 「人類の未来を考える」
～人文知における先端と古典の融合～

2) 内 容

総合司会 人文知応援フォーラム理事 草野満代
挨拶・趣旨説明：大原謙一郎（人文知応援フォーラム代表理事）
挨拶：平川 南（人間文化研究機構長）
基調講演：テーマ 「科学の健全な発展を願って～半世紀の研究をふりかえって
基礎科学とは何かを考える～」
講 師 大隅良典氏（東京工業大学榮譽教授）
コーディネーター 松元崇（人文知応援フォーラム理事）
パネル討論：コーディネーター 大林剛郎（人文知応援フォーラム理事）
パネリスト 大隅良典氏 東京工業大学榮譽教授
南場智子氏 株式会社ディー・エヌ・エー代表取締役会長
落合陽一氏 メディアアーティスト
齋藤真麻里氏 人間文化研究機構国文学研究資料館教授
総合研究大学院大学文化科学研究科日本
文学研究専攻長
吉田丈人氏 人間文化研究機構総合地球環境学研究所准教
授
閉会挨拶：近藤誠一（元文化庁長官・人文知応援フォーラム代表理事・人文知
応援大会実行委員長）

2) 大会宣言

人類の知的好奇心は、古来、宇宙の真理、自然や生命の摂理を探求すると共に、人間の生き方と社会のあるべき姿を追求してきた。科学¹はその多様な成果の集積であり、文化芸術はその多様な表現の結晶である。これらは「人はどう生きるべきか」という究極の問への回答に導いてくれる。それをわれわれは「人文知」と呼ぶ。これは総体として初めて真の価値をもつもので、分割 - 例えば文系と理系の分割 - したり、その一部（専門知）のみを取り出すことは、本来の価値を大きく減ずることになる。

しかし現代は熾烈なグローバル競争の下で、権力拡大や経済成長の短期的成果を追求する流れが加速し、知識とデータが偏重され、思考とそこから生まれる知恵が軽視され、価値観が揺らいでいる。全体を見ることよりも眼前の目的達成に役立つ手段たるテクノロジーと効率が最優先され、それが社会の隅々に行き渡っている。

先行き不透明な今を乗り切るためには、自然との関係を破壊から共生へ、人類社会を分裂から連帯へ、人々の心を閉塞感から希望へと転換するに必要な価値観の再構築をしなければならない。それには教育と研究の現場に、自由で誠実な「人文知」の探究を促す環境を取り戻し、そこに十分な社会的資源を投入することが急務であることを社会に訴えるものである。

1. 自然科学・社会科学・人文科学のすべてを含む

【付帯決議】

「人文知応援フォーラム」は、ロシアによるウクライナ侵攻とそれがもたらしつつある恐るべき結果が、先人が歴史的に蓄積してきた「人文知」を蔑（ないがし）ろにし、人間の尊厳を著しく傷つけるものであることを深く憂い、世界の心ある市民・組織と連帯して、一日も早く尊厳ある平和が希求されることを希求する。

4) メディア懇談会

第1回メディア懇談会

日 時：令和4年1月19日（土）16：00～17：00

会 場：人間文化研究機構会議室

参加者：メディア関係者6名

フォーラム理事5名

第2回メディア懇談会

日 時：令和4年3月12日（土）17：30～18：30

会 場：一橋講堂（東京都千代田区）

参加者：メディア関係者6名

フォーラム理事6名

(2) 会員例会

1) 10月度会員例会

日 時：令和3年10月21日(土)17:00～19:00

会 場：学士会館(東京都千代田区・WEBとの併用)

参加者：35名

テーマ：これからの「人文知」の話をしよう

内 容：参加者を4グループに分け、例会テーマに沿って、人文知とは何か、なぜ必要かについて議論を行った。

* 例会終了後、懇親会を開催

(3) 分科会

1) 第1回分科会

日 時：令和3年8月27日(土)17:00～19:00

会 場：学士会館(東京都千代田区・WEBとの併用)

参加者：23名

内 容：第1回人文知応援大会のテーマを深掘りし、これからの応援大会の在り方について自由な意見交換を行った。

* 分科会終了後、懇親会を開催

2) 第2回分科会

日 時：令和4年2月4日(土)17:00～19:00

会 場：学士会館(東京都千代田区・WEBとの併用)

参加者：7名

内 容：人文知の現実的意義と社会への訴求の在り方について意見交換を行った。

* 例会終了後、懇親会を開催

(5) 広報活動

1) ニュースレターの発行

(創刊号)

発 行：令和4年2月

概 要：A4版4ページ、カラー印刷、500部発行

内 容：巻頭エッセイ(高階秀爾氏「人文知とは何か」)

人文知の本棚(林真理子氏『平家物語大事典』)

人文知NOW(荒木和憲氏「和解への道」)

フォーラムレポート(人文知応援フォーラム第一回例会を開催)

事務局だより

2) ホームページの管理、運用

4. 組織の概要

(1) 会員

- 1) 正会員：12名
- 2) 賛助会員：個人 52名(56口) 団体 10件(31口)
- 3) 特別会員：2名

(2) 役員(敬称略・五十音順)

1) 代表理事

- 大原 謙一郎 公益財団法人大原美術館名誉館長
- 近藤 誠一 近藤文化・外交研究所代表

2) 理事

- 大林 剛郎 株式会社大林組代表取締役会長
- 草野 満代 フリーアナウンサー
- 榊原 定征 日本経済団体連合会名誉会長、東レ株式会社社友、
関西電力株式会社取締役会長
- 高階 秀爾 東京大学名誉教授・日本藝術院会員
- 長谷山 彰 慶應義塾大学名誉教授
- 林 真理子 小説家・公益社団法人日本文藝家協会理事長
- 平川 南 大学共同利用機関法人人間文化研究機構長
- 福岡 伸一 青山学院大学教授・米国ロックフェラー大学客員研究者
- 松元 崇 国家公務員共済組合連合会理事長

3) 監事

- 前川 晶 弁護士
- 鴨井 省三 株式会社三楽監査役

4) 顧問

- 加藤 丈夫 前国立公文書館館長(元富士電機会長)
- 高梨 誠三郎 高梨学術奨励基金理事長

(3) その他

1) 企画会議(事務局を除く)

大原謙一郎	公益財団法人大原美術館名誉館長
近藤誠一	近藤文化・外交研究所代表
平川南	大学共同利用機関法人人間文化研究機構長
永村真	人間文化研究機構理事

2) 人文知応援大会実行委員会(事務局を除く)

実行委員長	近藤誠一	人文知応援フォーラム代表理事
副実行委員長	永村真	人間文化研究機構理事

以上